



みささ

「みのりある学び」と

「さわやかな仲間」は

「最適な環境」から

令和6年2月19日No.49

文:岡本勇人



三朝町立三朝中学校 学校だより

『三寒四温』はいつの時期?と疑問に感じた、今日(4℃)と昨日(10℃)の気温差 $10-4=6℃$ です。



1年生数学で学習する正負の計算での学習内容です。因みに、今日3℃昨日-2℃だった場合の気温差は、 $3-(-2)=5℃$ となります。

お天気キャスター・森田正光さんによると、『三寒四温の意味はね、3日間寒いと4日間暖かい日があるということなんです。この言葉を見ると「寒い」とあるよね。その字を見てもらえば分かるように、実はこれは冬の言葉なんです。世の中の人、春の言葉だと思っている人が多いけど、本当の意味は、「いくら冬と言っても3日間寒かったら4日間ぐらいは暖かい日がある」ということなんです。中国の北東部には大陸性の高気圧がいつも寒い空気を送り続けています。』とのこと。TVキャスターの言葉をお借りします。「寒暖差が大きいので体調管理には充分に気をつけましょう。」

因みに、2/17(土)-3℃と2/19(月)13℃です。



気温によって電光掲示板の言葉が変わっていることが分かりました。

「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「最適な環境」
×「社会人に学ぶ(1年生)」×「待ち時間の使い方」

◆ 講師のお迎え前に



2/9(金)13:30 校長室前の様子です。案内担当者が、講師の方に伝える言葉を復唱していました。緊張するのは当たり前のことです。それくらい言葉を大事にしていることがひしひしと伝わってきました。

記録している言葉を読み返す・記憶している言葉を友だちに聞こえるように発しているなど、確認方法は様々でした。普段の授業中と同じ確認方法を取っているだろうなと感じました。繰り返しですね。

「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「最適な環境」
×『『失敗』からの学ぶ』×「自宅では…」

◆ 窓ガラス破損事故



学校では毎日、学習指導要領に基づいた教育課程(授業や各種行事のこと)が営まれています。その中で生徒は多くの成功と小さな失敗を毎日のように経験しています。時には、子どもたちが何かを壊したり、汚してしまったりと、失敗することがあります。その失敗で「ケガが無くて・大きな事故にならなくて良かった。」とホッとします。

そして教職員は、そんな失敗をした子どもたちを「指導」しなければなりません。「学校教育は未来への投資」ですから。その指導の中で「叱る」ことがあります。命にかかわる可能性があるので、「気づかないことを気づかせる」という大原則の基、叱ります。叱ることは大人の義務です。心に余裕をもって、「叱る」ことを恐れないようにしたいものです。決して「怒る」ことが無いように。ご家庭でも同様だと感じます。

生徒の命に関わるようなこと・心身に大きなダメージを残さないためにも、未来の危険に対する事前の備えや対策をして欲しいです。いわゆるリスクヘッジです。(今年度の修理代金合計 131,670 円)